

研修 A 初任者研修（担当：備中支部）

研修 B 合同研修「お悩み相談！リクエスト対応と選書」

元少年A『絶歌』については、県立図書館が県教委との協議により利用制限を行うなど、今までにないことが起こっています。差別的表現、政治的な内容を含むもの、萌えイラストなど、学校図書館として悩ましい要素がある資料もいろいろとあります。資料提供の意義や図書館の自由の理念をふまえて、ゆくりと意見交換ワークショップを行い、それぞれの考えを深め、共有しましょう。

<今日のめあて> 考えを深め、共有する。

<研修の流れ>

・説明（15分）→セッション1（35分）→セッション2（40分）→まとめ（10分）

<意見交換の参考に>

*リクエスト対応／選書

- ・各校の図書館運営方針、収集方針、選書基準等に基づく
- ・リクエストにはできるかぎり応えることが望ましい
- ・リクエストを制度化していない場合、検討する
- ・購入が難しい場合でも、相互貸借（他館からの借用）による提供を検討する
- ・内容的に問題がない場合も、予算、蔵書構成…

*図書館の自由に関する宣言

- ・「図書館は、基本的人権のひとつとして知る自由をもつ国民に、資料と施設を提供することを、もっとも重要な任務とする。」
- ・検閲、外部からの圧力や干渉
- ・図書館側の自己規制

*一方で…

- ・「学校教育と図書館サービスの関係、学校図書館の独立性など検討すべき課題」

*参考事例

- ・『ハリーポッターと秘密の部屋』 → 障害、人権
- ・はだしのゲン → 松江市が書庫への保管を支持（後に撤回）
- ・『絶歌』 → 残虐な表現、取り扱い注意
- ・「としょかんのちかい」 → 図書館が児童に対してとる姿勢
- ・『完全自殺マニュアル』事例 → 1993年発行、岡山県でも有害図書指定に
- ・埼玉県立新座高校の事例 → F-35などの戦闘機や戦車の本を2冊図書館に入れたところ、職員会議で協議することになった。

<セッション1：6グループに分かれて意見交換>

※司会、記録、発表（各1名）をそれぞれのグループで決める。

- ・A：セクシーな写真、美術、芸術、
- ・B：萌えイラスト
- ・C：兵器、武器、銃刀、戦車、死刑、（暴力・戦争）
- ・D：だます・殺す描写
- ・E：『絶歌』について
- ・F：校内・関係者との合意形成

<セッション1 発表>

- ・A：検討する組織があるかないか。一人で決めないこと。司書が判断したうえで図書館へ入れた本なら、しっかり説明する（読みたいのが生徒なら）。
- ・B：ライトノベルについては、複数の生徒や書店に聞いてみる。例えば、リストに○をつけさせるなど、生徒のリクエストが多いものから順に入れてみる。メーリングリストで相談する。
- ・C：薬物、武器、死刑などは内容をよく吟味する。集団的自衛権など、良い面のみを取り上げた本を入れるのはどうかと思う（バランスが大切）。
- ・D：過去に暴力を受けたことがある生徒などへの悪影響。ネットの書評も参考にする。
- ・E：提供の仕方も大切（新聞記事や司書の説明も合わせて提供する）。教育的配慮と図書館の自由の両面で難しい。
- ・F：課長が変わって図書選定会議が開かれるようになり、司書の判断で購入することが難しくなった。職員用図書館だよりも有効利用する。

<セッション2：6グループに分かれて意見交換>

※司会、記録、発表（各1名）をそれぞれのグループで決める。

- ・A：セクシーな写真、美術、芸術 + 萌えイラスト（旧A・B）
- ・B：専門学科の選書①
- ・C：専門学科の選書②
- ・D：選書の偏り
- ・E：『絶歌』について
- ・F：校内・関係者との合意形成

<セッション2 発表>

- ・A：情報モラル。コスプレをした生徒の写真をとったことが問題になった。県立図書館の相互貸借を利用する。ライトノベルの提供自体も問題。
- ・B：授業で利用する生徒からレジュメなどを見せてもらい、担当教科の先生との話題にする。
- ・C：3万を超える事典などは、基本各教科で買ってもらう。生徒の実態に応じて、県立図書館から借りるなどして、購入する本を先生方に選んでもらう。
- ・D：西尾維新や東野圭吾など、人気作家の小説などは偏っても仕方がない。ただ、ノンフィクションに偏りがあるのは問題である。専門の先生に蔵書を見てもらい、定期的な入れ替えをする。
- ・E：『絶歌』に対する個人的な嫌悪感と司書としての選書をどうするべきか。
- ・F：司書の選書基準の有無。先生方の認識の問題。図書館は基本的な全集が揃っていれば○という昔ながらのイメージを持たれている方も多い。実際問題、生徒は軽いものを好む傾向にあるので、現状を伝えることも必要である。

<ふりかえりシートの記入>

- ・各自で記入する。

合同研修会（第1回）

<全体連絡> 報告・諸連絡

* 県立図書館（近藤さん）より

- ・2015 セット貸出ベスト 10
- ・白書の入れ替えあり
- ・平成 27 年度学校セットへのリクエスト状況 など

* 県 SLA、高教研より → なし

* ネット研より

- ・サポート校事業（別紙あり）
- ・でーれーBOOKS（別紙あり） → 3月アンケート結果まとめ

* その他

- ・図書委員会交流会 5/28（土） → 会場は東岡工図書館
備前支部には文書発送済み。人数調整のため、申し込みは早目に。
- ・ビブリオバトル（高校生） → 県大会（12月？）を計画中
優勝者は全国大会へ（読売の読書推進）
- ・岡工より配布物あり（各支部研修にて）
- ・研修会后、H28 年度ネット研メンバーは図書館へ集合のこと
- ・岡工図書館前の展示、職員室前の作品見学も OK

<研修「共有しよう！各支部の最近の活動」>

* 備前支部より（別紙あり）

* 備中より（スライド+HP 参照）

- ・県立 24 校+市立 6 校+私立 10 校、計 40 校で構成
- ・年間 5 回の研修を持つ。（うち 2 回は 3 支部合同研修）
- ・(1) POP 研修（H26 年度第 2 回） (2) 図書館だより研修（H26 年度第 3 回）
- ・(3) オリエンテーション研修（H26 年度第 4 回） (4) ?（H26 年度第 5 回）
- ・(5) 進路研修（H27 年度第 2 回） (6) 展示実習（H27 年度第 3 回）
- ・(7) 情報探索（平成 27 年度第 4 回） (8) レイアウト変更（H27 年度第 5 回）

* 美作より（別紙あり）

以上